

吾妻山噴火シナリオ(案:2019/7/9)

資料4-2-1

協議事項

吾妻山火山防災協議会

活動	静穏	火山活動の高まり	水蒸気噴火(小規模)	水蒸気噴火(中規模)	マグマ噴火(中規模)	マグマ噴火(大規模)	活動の縮小	静穏	
時間(目安)	静穏期	数ヶ月～数年程度	数日～数ヶ月	数日～数ヶ月	数ヶ月～数年程度	数ヶ月～数年程度	数ヶ月～数年程度	静穏期	
噴火活動の想定	<ul style="list-style-type: none"> ・大穴火口、及び周辺の噴気活動(高さ概ね100m以下) ・低調な地震活動 ・火口付近での火山ガスの噴出等 	<ul style="list-style-type: none"> ・火山性地震の増加 ・火山性微動(微小なもの)の発生 ・地殻変動の変化 ・噴気地熱域のわずかな拡大 ・噴気、火山ガスの変化 ・地温の上昇等 <p>(前兆現象なし)</p>	<p>警戒範囲:火口から概ね1.5km以内</p> <ul style="list-style-type: none"> ★噴石の飛散(概ね1.5km以内) ★有色噴煙の発生(規模の小さい噴火) <ul style="list-style-type: none"> ●火山性地震の増加 ●低周波地震の増加、火山性微動(微小なものを除く)の発生 ●山体の膨張を示す明瞭な地殻変動 ●熱活動の活発化(活発な噴気活動、地熱噴気地帯の拡大、顕著な地温の上昇等) 	<p>警戒範囲:火口から概ね4km以内</p> <ul style="list-style-type: none"> ★噴石の飛散(概ね4km以内) ★火砕流・火砕サージ(低温:概ね4km以内) <p><積雪期></p> <ul style="list-style-type: none"> ★融雪型火山泥流の発生(概ね4km以内) <ul style="list-style-type: none"> ●火山性地震、火山性微動の急増、規模大 ●山体の膨張を示す顕著な地殻変動 ●レベル2相当の噴火が断続的に発生し、さらに規模の大きな噴火の可能性がある場合 	<p>警戒範囲:火口から概ね4km以内</p> <ul style="list-style-type: none"> ★噴石の飛散(概ね4km以内) ★火砕流・火砕サージ(概ね4km以内) <p><積雪期></p> <ul style="list-style-type: none"> ★融雪型火山泥流の発生(居住地域近くまで) <ul style="list-style-type: none"> ●火山性地震、火山性微動の急増、規模大 ●山体の膨張を示す顕著な地殻変動 ●火映現象など熱活動の更なる活発化 ●噴出物に新鮮なマグマの関与を示す調査結果が得られ、マグマ噴火の可能性がある場合 ●レベル2相当の噴火が断続的に発生し、さらに規模の大きな噴火の可能性がある場合 	<p>警戒範囲:居住地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ★噴石の飛散(概ね4km以内) ★火砕流・火砕サージが居住地域へ影響 <p><積雪期></p> <ul style="list-style-type: none"> ★融雪型火山泥流が居住地域へ影響 <ul style="list-style-type: none"> ●火山性地震、火山性微動の急増、規模大 ●多量のマグマ上昇を示す地殻変動 	<p>火山活動の状況に応じて警戒範囲を縮小</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大穴火口、及び周辺の噴気活動(高さ概ね100m以下) ・低調な地震活動 ・火口付近での火山ガスの噴出等 	
	噴火警報基準以外の主な災害	<p><凡例></p> <ul style="list-style-type: none"> ★...噴火の発生に伴う現象 ●...噴火の可能性を示す現象 → 火山活動が活発化 → 火山活動が低下 		<p>火山ガス</p>					<p>降 灰</p>
			<p>降灰後の降雨による土石流</p>						
			<p>火口噴出型泥流</p>						
噴火警報・予報等 噴火警戒レベル	噴火予報 「活火山であることに留意」 (レベル1)	噴火予報 「活火山であることに留意」 (レベル1) (火山の状況に関する解説情報)	噴火警報「火口周辺規制」 (レベル2)	噴火警報「入山規制」 (レベル3)	噴火警報「避難準備・避難」 (レベル4・5)	噴火警報 (レベル3・2)	噴火予報 「活火山であることに留意」 (レベル1)		

*噴火を想定する火口として、近年の噴火活動から「大穴火口及び旧火口周辺」(大穴火口と燕沢火口列)とする。

*吾妻小富士、五色沼など、想定火口以外で噴火が発生した場合は、新たな噴火警戒レベルを協議会で設定する。

*噴火規模の表現は、火山学的な噴火規模(噴出物量)とは異なり、大きな噴石や火砕流等の到達する範囲(影響範囲)を基準としている。